

作成日 2022/03/14

品番 999-07722-X9-003
999-07722-X9-008

(セット品に含まれる)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 セーフティールール (Safety Lube)
製品コード 999-07722-X9-008
供給者の会社名称 株式会社プリーマタイヤサプライズ
住所 東京都新宿区新宿1-25-14第2関根ビル2F
電話番号 03-3358-6908
推奨用途 潤滑剤

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

GHS分類に該当するデータは得られていない。

GHSラベル要素

絵表示 GHSに基づく絵表示なし
注意喚起語 GHSに基づく注意喚起語なし
危険有害性情報 GHSに基づく危険有害性情報なし
注意書き
安全対策 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
換気が不十分な場合、呼吸器保護具を着用すること。
応急措置 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
保管 換気の良い場所で保管すること。
廃棄 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
ブテンホモポリマー	62.5%	(C4H8) _x	(6)-774	既存	9003-29-6
オゾケライトワックス	25%	-	-	-	8001-75-0
白色鉱油	12.5%	-	-	-	8042-47-5

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)	鉱油(政令番号:168)(10%~20%)
---------	---	-----------------------

4. 応急措置

吸入した場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
急性及び遅発性の最も重要な徴候及び症状	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 長期的又は反復的なばく露により、皮膚症状を引き起こす可能性がある。
医師に対する特別な注意事項	対症的な治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素。棒状水。 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 蒸気は空気よりも重く、地面近くで着火源まで広がる可能性がある。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。
特有の消火方法	火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	使用前に取扱い説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 火気注意。
保管	接触回避 衛生対策 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 火気注意。 施錠して保管すること。 元の容器で密閉して保管すること。 酸化剤から離して保管すること。 直射日光にあたらぬようにすること。
	安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2020年版)	ACGIH (2020年版)
ブテンホモポリマー	未設定	未設定	未設定
オゾケライトワックス	未設定	未設定	未設定
白色鋳油	未設定	(鋳油ミスト) 3mg/m ³	(Mineral oil, excluding metal working fluids) Pure, highly and severely refined: TWA 5mg/m ³ (I), STEL - Poorly and mildly refined:TWA -(L), STEL -

設備対策		蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具	密閉する設備又は局所排気装置を設置する。 換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	保護手袋を着用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 不浸透性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	形状	固体 ペースト状
色		白色
臭い		特徴的な香り
融点/凝固点		122°C

沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		適用されない
爆発下限界及び爆発上限	下限	データなし
界/可燃限界	上限	データなし
引火点		> 185 °C
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		~7000 mm ² /S (粘度 (粘性率) 7000cP (122°C)、比重 ~1)
溶解度		非水溶性
n-オクタノール/水分配		データなし
係数 (log 値)		
蒸気圧		< 0.1 mmHg (20°C)
密度及び/又は相対密度		~1
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		この製品に関連する危険な反応性はない。
化学的安定性		通常の温度下で、推奨される使用においては安定である。
危険有害反応可能性		蒸気は空気よりも重く、地面近くで着火源まで広がる可能性がある。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。
避けるべき条件		高温、加熱、裸火。
混触危険物質		強酸化剤。
危険有害な分解生成物		二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物のガスを発生する。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (急性毒性 (吸入: 気体)) 製品の形状がGHSの定義における固体のため、区分に該当しない。 (急性毒性 (吸入: 蒸気)) データ不足のため分類できない。 (急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト))
皮膚腐食性/刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。</p>
-------	--

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
------	-------------------------------	---------------------

Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable Not applicable
--	----------------------------------

国内規制	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
陸上規制		非該当
海上規制情報		非危険物
海洋汚染物質		非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質		非該当

特別の安全対策	航空規制情報	<p>非危険物</p> <p>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p>
---------	--------	--

緊急時応急措置指針番号		重量物を上積みしない。 なし
-------------	--	-------------------

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当

労働安全衛生法(通知対象物質)	該当
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)	非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	非該当

適用される主たる国内法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(鉱油)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(鉱油)

労働基準法

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)(すす、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィン)

16. その他の情報

連絡先

参考文献

免責事項

株式会社プリーマタイヤサプライズ

原料メーカーSDS(2018/07/05)改訂版

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。